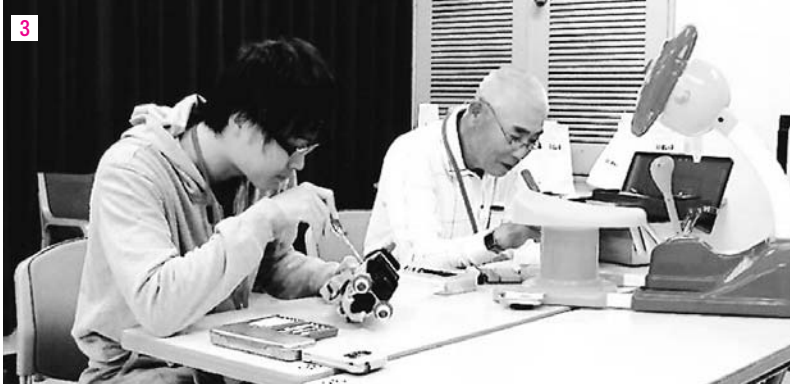


市民記者が行く! 広報サポーターレポート



1. 元気になった愛犬（電池で動くぬいぐるみ）に感動の再会。 2. 壊れた症状などを細やかに診察しながらの受け付け。 3. 細心の注意を払っての修理。部品がないときは自作することもあるそうです。



広報サポーター
野田光成さん(今川町)

思い出の品は心の宝物 『おもちゃ病院』で再生しよう

「病院」と聞くと、人や動物が病気になったときにお世話になる所とイメージする方が多いと思います。今回は、おもちゃを修理する「おもちゃ病院」があると聞き、興味津々で取材させていただきました。

会場に入ると、すでに受け付けや修理などが始まっています。和やかな雰囲気の中、修理に訪れた方々を取りに来たお子さん連れでにぎわっていました。

このおもちゃ病院の創設者でもある永谷さん（吉良町）にお聞きしたところ、一番多いおもちゃの修理は、2〜3年前に発売された電動式玩具の破損が多いとのこと。費用はほとんどが無料ですが、部品代を50〜100円いただくこともあり、修理の期間は1週間くらいかかるそうです。おもちゃ病院を始めようと思ったきっかけは、定年後の第2の人生を踏み出そうとした時に、社会に貢献できることをしたいと考えたからで、おもちゃ病院をやっている一番の楽しみは、修理を終えたおもちゃを子どもさんに手渡して、ニコッとほほ笑えんでくれたときだそうです。この笑顔を見るのが生きがいで、動ける間は一生涯続けていきたいと話しておられました。スタッフの皆さんも同じ考えで「思い出の品は心の宝物」と思い、活動しているそうです。



●おもちゃ病院診察案内 ▶ 問合せ/永谷(☎090-9336-6403)

場所	日時	など
道の駅にしお岡ノ山	毎月第1土曜日	午前10時～正午
中央児童館	毎月第1日曜日	午前10時～正午
西尾市立図書館	毎月第3土曜日	午前10時～正午
クリーンセンター	毎月第4日曜日	午前10時～正午

永谷さんをはじめスタッフの皆さんは、思い思いに工夫を凝らし、心を込めて修理しておられました。その手先の器用さと繊細な手さばきは、まるで職人のようでした。

最近壊れたらすぐに新しい物を買ったり、使い捨てにしてしまったりすることが多くなってきましたが、物を大切に扱うことは、子どもの教育にも、環境にもとてもいいことだと思います。今回の取材は、心の癒やしにもなる大変楽しいものになりました。

広報サポーターは公募により選ばれた市民記者です。これからも市民の目線で市内各地のイベントなどを取材していただきます。